

# 自立活動学習指導略案

授業者 T1 
 T2 
 アドバイザー

テーマ	「相手を知ろう、自分を知ろう ～怒りのツボを知ろう②～」			
日時		時間		
場所		対象		

## 1 目標

生徒氏名	本時の目標	様子	評価
○○ ○○			
○○ ○○			
○○	生徒一人一人の【本時の目標】を記入し、【生徒の様子】から  【評価基準】をもとに【評価】を行います。		
○○			
○○			
○○			
○○			
○○			
○○ ○○			
○○ ○○			

評価基準 1:できなかった 2:少しできた 3:だいたいできた 4:できた 5:とてもできた

## 2 展開

時間	学習活動	区分	配慮事項・【評価のポイント】
15	① 本時のテーマ、活動内容(本時の流れ)の確認、気持ちのチェックシートを記入する。 ② 自立活動のルール説明	環境の把握 4-(1)(2)	・本時の学習に見通しが持てるように、流れについて説明する。 ・自立活動でのルールを全員で確認し、お互いに気持ちよく、リラックスして授業に参加できるようにする。
30	③ アイスブレイク(マジカルばなな) ④ アンガーマネジメントゲームを行う。 (1)怒りのできごとカードを読む。 (2)カードの内容を聞き、怒りの温度を考える。 (3)友人がどのくらい怒りを感じるか予測し、ゲームをすすめる。	人間関係の形成 3-(1)(4) コミュニケーション 6-(1)(2)(3)(5)	・ゲームのリズムやルールを理解して楽しめるように補足をしながらゲームを進める。 ・内容の変更ができることを説明し、プレッシャーにならない雰囲気を作る。 ・カードを選ぶ際には生徒が悩んだり考えたりする時間を十分とることで安心感を持てるようにする。 ・教師が手本を提示することで、見通しを持ち、発表する際の自信につなげる。  【ゲームに参加できていることを賞賛し、自信に繋がるような声かけをする。】
5	⑤ 活動の振り返り、気持ちのチェックシートで自分の状態を確認する。 ⑥ 次回の日程、学習内容を知る。	人間関係の形成 3-(3) 心理的な安定 2-(1)(2)	【積極的に活動していた部分を賞賛する】 ・チェックをつける際、迷っている生徒には教師が積極的に声掛けを行う。 ・次の学習について伝えておくことで、見通しを持ち気持ちの安定を図る。